

# 呉で輝く 若者たち

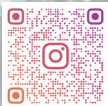
vol.117

おかひら しんご  
岡平 真吾 さん

## プロフィール

39歳。音戸在住。倉橋町『観光船第三勇盛丸』代表。  
「便利屋オカヒラ」代表。くらはし観光ボランティアガイドの会、倉橋交流拠点構想推進協議会、厳島神社倉橋管絃講、桂濱神社祭礼奉賛会、大神社礼賛会、オノ木盆踊り保存会所属。呉の好きな食べ物は、倉橋町近海で採れる魚。

『観光船第三勇盛丸』のInstagram▶



インタビューの様子はこちら▶



観光船に使われているのは、かつて「伝説の漁船」と呼ばれ、この船で出ると大漁はもちろん、事故がなく縁起の良いとされていた底引き網漁船。外板や手すりの設置、塗装などを施し、漁師の先輩や地域の人たちにアドバイスをもらいながら2カ月かけて改修しました。



▲船上から見た夕日

「数千年変わらない風景を見せ続ける倉橋島の海。そこに沈む夕日を、呉の新しい絶景として船上から多くの人に届けたい。」

現在、倉橋島で観光船を営む岡平真吾さんは、5年前、新型コロナウイルス感染症の拡大によってまちのイベントが次々と中止されていく状況に、強い焦燥感にかられたと言います。失われていく時間を特別なひとときに変えたい—その想いから始めたのが観光船でした。

「倉橋の海岸線や島の形、遠くに見える四国の姿は、ずっと変わらない。生まれ育った私たちには当たり前の風景かもしれないが、このような時代だからこそ、多くの人に寄り添える風景になると感じたんです」と話します。

「数千年変わらない風景を見せ続ける倉橋島の海。そこに沈む夕日を、呉の新しい絶景として船上から多くの人に届けたい。」

ただでなく、私自身も時間が止まったような感覚になるんです。胸が熱くなる瞬間です。誰かの特別な思い出になっている—観光船を始めたときに願ったことが、現実のものとなりました。

「もっと多くの人に倉橋を知ってほしい。その思いから、地域の観光施設や史跡の整備、案内を行う『くらはし観光ボランティアガイドの会』にも所属しています。今年4月には、観光船で巡る倉橋町・亀ヶ首発射場跡の見学ツアーも実施しました。「風景はもちろん、このまに息づく歴史も知ってほしい。それが今、最もやりたいことなんです」と語ります。

——伝説と呼ばれた漁船は、いま「伝説の観光船」へ。

岡平さんは悠久の倉橋の海と記憶を引き継ぎ、思いを未来へと届けていきます。

## 10言語対応「市政だより くれ」デジタルブックで配信中！



- ブラウザでもアプリでも、スマホやタブレットで読める
- 文字サイズを調整できる
- 10言語で読める・聞ける（音声読み上げ対応※）
- 動画や写真も楽しめる

無料 FREE APP



### 【対応言語】

日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）  
韓国語、タイ語、ポルトガル語（ブラジル）  
スペイン語、インドネシア語、ベトナム語  
※ベトナム語は音声読み上げに対応していません。



・ブラウザ版は音声読み上げには対応しておりません。音声読み上げには、無料アプリ（カタボケバ）のインストールが必要です。

UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています

- 再生紙を使用しています
- QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

編集・発行  
呉市役所 秘書広報課

〒737-8501 広島県呉市中央4丁目1番6号 代表 ☎25-3100 秘書広報課 ☎25-3236

市政だより 令和7年11月号